

平成 26 年第 3 回理事会会議録

1. 開催日時 2014 年 9 月 27 日（土）19 時 00～20 時 10 分
2. 開催場所 秩父宮記念体育館 2 階 研修室
3. 出席者 広瀬 齋藤 小池 平野 薬師寺 田中 横井 吉田 千葉 木全 菊池 山崎 山田
堀内 高橋 戸上 林 18 名（順不同、敬称略）
4. 配布資料 ① 平成 26 年度 第 3 回理事会次第
② 平成 26 年度 第 2 回理事会会議録
③ 第 38 回 全日本都市対抗テニス大会結果&決算（案）
④ 平成 26 年度 事業報告・事業予定について
競技部、行事部、指導部、総務部
⑤ 協会運営指針推進プロジェクト最終報告
⑥ 第 1 回岩淵杯 藤沢オープンテニス 2015
⑦ 平成 27 年度『テニス人の集い』プロ講演について
⑧ 藤沢市テニス協会創設 40 周年記念事業実行委員会設置要綱（案）
⑨ 藤沢市テニス協会 平成 27 年事業予定表（案）

5. 議事等

進行（木全常任理事）

理事総数 67 名の内、出席 18 名、委任状 37 名、合計 55 名で過半数以上の定数に達し、成立を確認。

(1) 挨拶（広瀬会長）

『本日は土曜にもかかわらず御集まり頂き誠にありがとうございます。議題に入る前に 2 点報告があります。

- ① 藤沢市テニス協会創設 40 周年に向けて実行委員会で対応する予定
- ② 藤沢市テニス協会 団体登録見直しについて。平成 24 年以降、3 年間の移行期間を経て、平成 27 年 11 月に申請するにあたり、特にサークル登録は注意が必要になること。

以上 2 点報告があります。議題は盛り沢山であります。今後も理事の方の協力を仰ぎたいと考えておりますので今後とも宜しくお願い致します。』

(2) 議題

齋藤理事長より、平成 26 年度第 3 回理事会にて使用する配布資料の確認。

第 2 回理事会 議事録の確認（林）

(3) 全日本都市対抗 全国大会 結果報告

平野副理事長より、配布資料③ 第 38 回 全日本都市対抗テニス大会結果&決算（案）についての説明があった。藤沢市は 3 回戦まで進み、神戸市に負けたが全体の 5 位でシードを守った。決算についての報告もあり、理事会にて承認。

(4) 各部会からの事業報告（案）

配布資料④ 平成 26 年度事業報告・事業予定について、競技部、行事部、指導部、総務部の各部長より順に報告。

<競技部>田中氏

配布資料を基に、項目(7) オータムテニス藤沢まで終了中。

今後の予定は第7回チャンピオンリーグを開催予定。会場も市営のコートだけでなく、各クラブ、各事業所コートを使用する予定。

<行事部>小池氏

配布資料を基に項目(1)～(3)については前回報告。(4)～(6)について説明。(6)は第15回テニスの日フェスタで9/23(火・祝)で開催。今後の予定で第36回藤沢市クラブ対抗を開催予定。

<指導部>平野氏

配布資料を基に項目(1)～(3)については前回報告。(4)～(11)まで説明。(12)以降は現在進行中のテニス教室について説明。今後の予定として藤沢市民テニス教室秋キッズ・ジュニアキャラバンを開催予定。また、藤沢市民受講生大会、第5回指導者講習会を開催予定。

<総務部>菊池氏

配布資料を基に説明。

常任理事会、理事会、総会等の開催、規程の整理、団体登録の整理等について行う。

<各報告を踏まえ全体を通しての質問>

Q: 藤沢市テニス協会HPの団体登録掲載について古いデータを使用されている。意味があるのか?

A: 申し訳ない、総務部に修正を御願いたいと思う。

(5) 協会運営指針推進プロジェクト最終報告

配布資料⑤について報告。1月から見直しを図る上で立ち上げた。各事業について、継続、縮小、廃止で振り分けを行い、競技部、行事部、指導部、総務部で各々検討結果を報告した。

<競技部>田中氏

縮小に関して藤沢選手権、実業団個人戦、チーム対抗戦、オータムを候補とした。賞品代や大会運営に当たっての経費削減を理由とした。その他は継続。

<行事部>小池氏

縮小は市民総合体育大会継承大会のみ。テニスカンプは集まりが悪いので2014を中止。今後については未定。

<指導部>平野氏

来年度より春季・秋期のテニス教室の回数を現在の全10回(予備3回)を全8回(予備2回)に削減する。日程の調整を含めて運営しやすい為。また、初受講生を優先し、指針にもあるキッズに力を入れたい。

<総務部>齋藤理事長

常任理事に団体理事が1/3しかいない。

理事会への出席率を上げたいので、理事だけでなく代表者も出席できる用にしたい。また、常任理事会開催回数を減らし、必要あれば部会等で話し合いを行う。また、市営コートを優先確保しないようにしたい。

<各報告を踏まえ全体を通しての質問>

Q：協会運営指針推進 PJ を始めるにあたり、結果何割削減できたのか？

A：来年より執り行うので明確な削減は来年以降である。

Q：チーム対抗戦で、大変人気のある大会に限って赤字でもないのに縮小になってしまうのはなぜか？

A：震災以降、減少気味なので減らす対象とした。

Q：市民コート優先確保を減らすとあったが、今後市営じゃないコートで事業を行う予定か？

A：できるならその予定。

Q：協会運営指針推進 PJ は全体の縮小するつもりだけで見直してきたのか？

A：継続の項目では拡大もあり、全てが縮小というわけではない。必要あるもの、いらぬものを整理する為に立ち上げた。

これにて、協会運営指針推進 PJ を解散とした。

(6) 新規事業についての報告

<第1回岩淵杯 藤沢オープンテニス 2015 について>

配布資料⑥ 第1回岩淵杯 藤沢オープンテニス 2015 の提案があった。

Q：オータムのシングルを削減した日程に差し替える形か？

A：オータム日程と差し替える予定。6月にしたのは市民ジュニア大会があり、親子含めて観戦目的もある。

⇒承認。

<平成27年度『テニス人の集い』プロ講演について>

配布資料⑦ 平成27年2月28日に『テニス人の集い』プロ講演を御願ひしている。

講師は宮崎 雅俊プロ。⇒承認。

<藤沢市テニス協会創設40周年記念事業実行委員会設置要綱(案)>

配布資料⑧ 案にて報告。

Q：第4条の(2)平成26年度9月27日の理事会に出席した人だけが候補なのか？

A：全理事に総務部からメールにて配信予定。参加を募る。

理事会で参加者を募った所、Roots 山田氏、高橋テニススクール 高橋氏、OAS 戸上氏、武田薬品 山崎氏が参加表明。

第1回実行委員会は10月22日(水)19:00～ 秩父宮記念体育館 研修室にて開催予定。

<藤沢市テニス協会 平成27年事業予定表(案)>

齋藤理事長より平成27年度事業予定表(案)の報告。

6月に岩淵杯を入れることで承認された。

(7) 閉会の辞

木全常任理事により、平成26年度第3回理事会が閉会された。

以 上